CN-DV155RFD
Strada

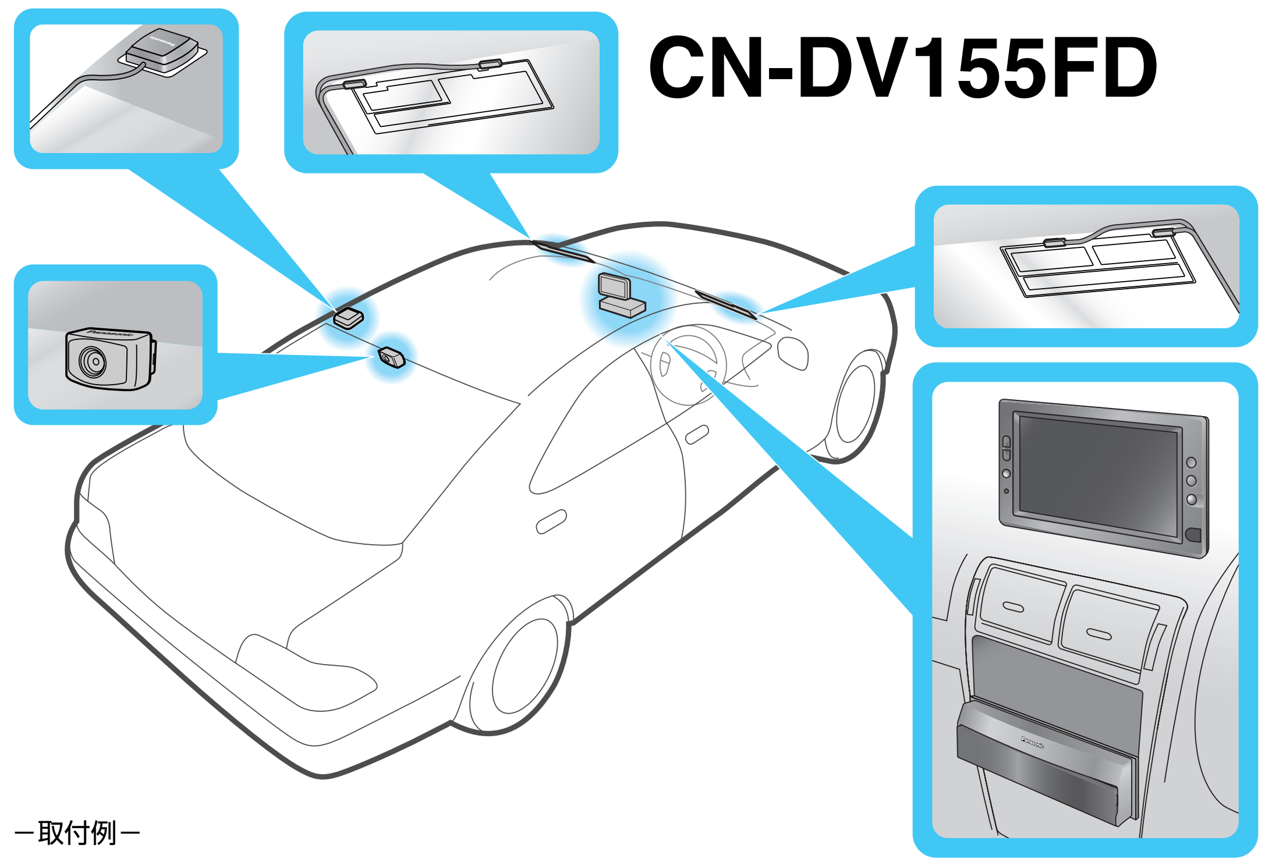
Panasonic

取付説明書
設置と接続

7V型ワイドオンダッシュテレビ付
DVDビデオプレーヤー内蔵
DVDカーナビステーション

品 番

リヤビューカメラセット **CN-DV155RFD**
CN-DV155FD



－取付例－

取り付け・配線の前に、別冊の取扱説明書(準備・基本編)の「安全上のご注意」(☞4〜9ページ)を必ずお読みいただき、安全にお使いください。

お客様へのお願い
本機の取り付け・配線には、専門技術と経験が必要です。安全のため、必ずお買い上げの販売店にご依頼ください。

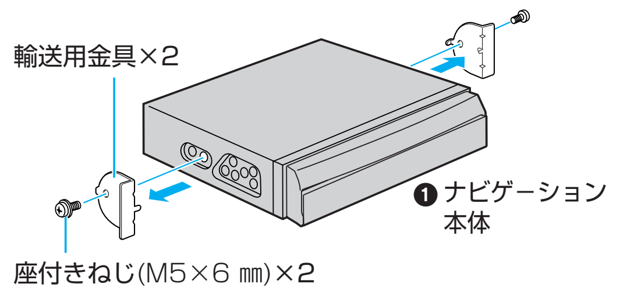
販売店様へのお願い
本機の取り付け後、この取付説明書は必ずお客様へご返却ください。

この説明書は再生紙を使用しています。 PRINTED WITH SOY INK™ この説明書の印刷には、植物性大豆油インキを使用しています。

ナビゲーション本体の取り付けかた

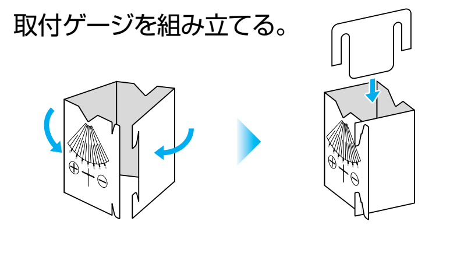
準備 ● 輸送用金具をはずしてください。

取りはずした座付きねじ(2本)は、ナビゲーション本体の取り付けに使用する場合があります。

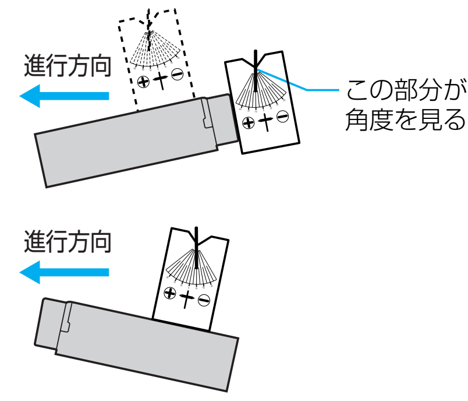

輸送用金具×2
❶ ナビゲーション本体
座付きねじ(M5×6 ㎜)×2

■ 取付角度を測る

① 取付ゲージを組み立てる。



② 車体が水平になる場所で、ナビゲーション本体に取付ゲージを下図のようにあて、本体の取付角度を測る。
- ナビゲーション本体の向きに関わらず、⊕マークを車の進行方向に向けて測ってください。
- 床に置いた場合は、取付ゲージをナビゲーション本体の上に置いて、角度を測ってください。

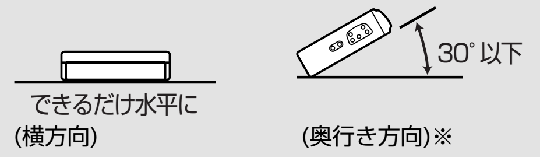

進行方向
この部分が示す角度を見る
進行方向

③ 本体取付角度を設定する。(裏面)

お願い
- 取付ゲージを折ったり曲げたりしないでください。正確な角度が測れなくなります。

お願い
- **以下のところには、取り付けないでください。故障の原因になります。**
  - ・水のかかるところ
  - ・足で踏まれるところ
  - ・ほこりの多いところ
  - ・直射日光のあたるところ
  - ・ヒーターのダクトや発熱する物の近く
- **車室内の床やコンソールボックス内、トランク内など、しっかりした場所に付属の金具を使用して、しっかりと固定してください。**
- **連続して使用すると、ナビゲーション本体が温かくなりますので、まわりに物などを置かないでください。**
- **取付角度を測り、許容傾斜角度で取り付けてください。** 取付角度が大きい場合、ジャイロが正しく動作せず、自車位置が正しく表示されません。

許容傾斜角度

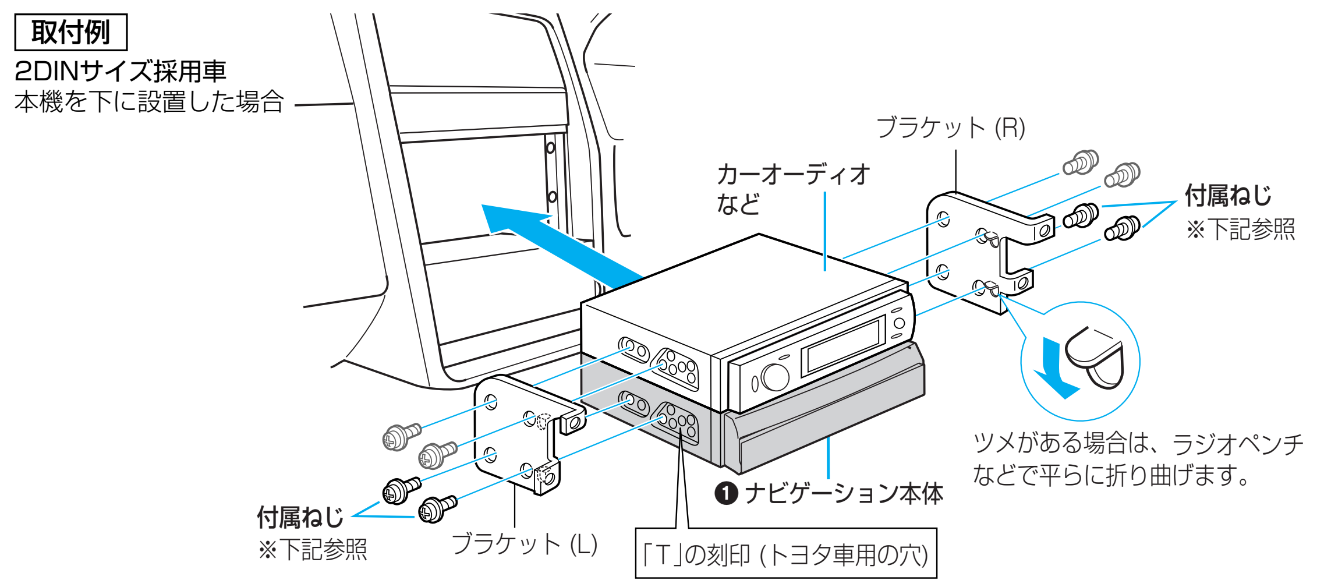

30° 以下
できるだけ水平に
(横方向)
(奥行き方向)※

※ ナビゲーション本体を進行方向に対し直角の向き(右向き/左向き)に取り付ける場合は、横方向・奥行き方向ともに、できるだけ水平に取り付けてください。

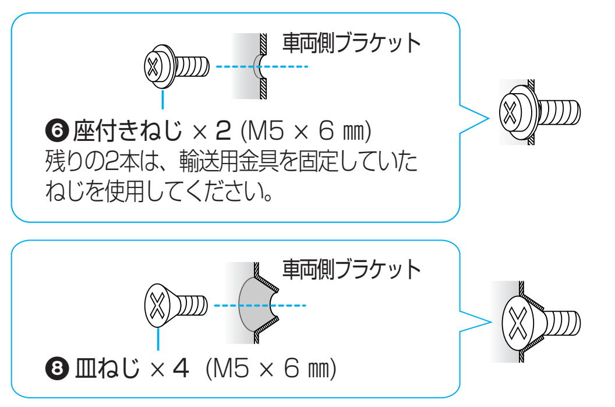
- **アマチュア無線機などのアンテナの近くに取り付けないでください。** 画像が乱れる原因になります。

コンソールボックスに取り付ける場合

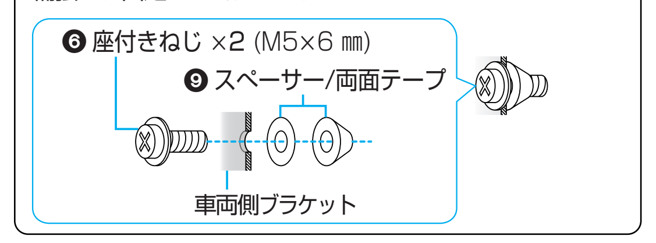
取付例
2DINサイズ採用車
本機を下に設置した場合


ブラケット (R)
カーオーディオなど
付属ねじ ※下記参照
ツメがある場合は、ラジオペンチなどで平らに折り曲げます。
❶ ナビゲーション本体
付属ねじ ※下記参照
ブラケット (L)
「T」の刻印 (トヨタ車用の穴)

付属のねじは、取り付け金具 (ブラケット) の穴形状に合わせて選んでください。


車両側ブラケット
❻ 座付きねじ × 2 (M5 × 6 ㎜)
残りの2本は、輸送用金具を固定していたねじを使用してください。
車両側ブラケット
❽ 皿ねじ × 4 (M5 × 6 ㎜)

ブラケットが不安定な場合には、スペーサーで取り付けを補強し、固定してください。


❻ 座付きねじ ×2 (M5×6 ㎜)
❾ スペーサー/両面テープ
車両側ブラケット

●トヨタ車 (DINサイズ採用車)
純正カーオーディオを固定していたブラケットを使用してください。

●日産・本田・三菱車 (DINサイズ採用車)
別売の車両メーカー別標準取付キット、または車種別の取付キットを使用してください。

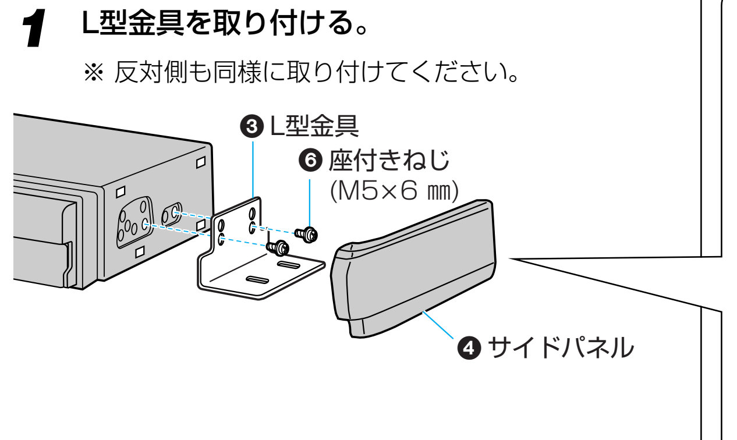
●上記メーカー以外の車
別売の専用取付キット、または汎用取付キットを使用してください。

お知らせ
- 年式、車種、グレードにより、専用キット(別売)が必要な場合がありますので、販売店に相談してください。
- 車両側との配線が容易にできる専用の中継コード(別売)がありますので、販売店に相談してください。
- ダッシュボードの形状や寸法(DINサイズまたは2DINサイズでない場合)によって、取り付けられない場合やシフトレバーなどに接触する場合があります。詳しくは、販売店に相談してください。
  - ・DINサイズ (横180 mm×縦50 mm)
  - ・2DINサイズ (横180 mm×縦100 mm)

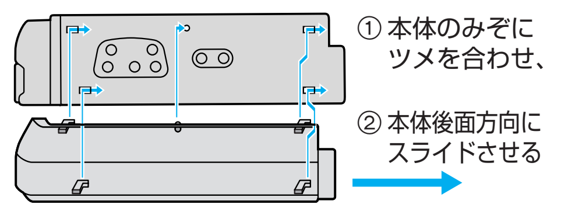
お願い
- **故障の原因になりますので、長さの異なるねじを使用しないでください。**
- **使用する取り付け金具 (ブラケット) は、車両メーカーや車種ごとに形状や固定方法が異なります。詳しくは、販売店に相談してください。**
- **コンソールボックスに無理に押し込まないでください。配線 (コネクターやコード) に負担がかかり、接続不良の原因になります。**

トランクや床に取り付ける場合

1 **L型金具を取り付ける。**
※ 反対側も同様に取り付けてください。

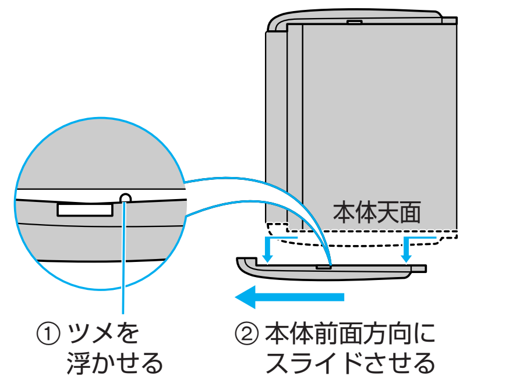

❸ L型金具
❻ 座付きねじ (M5×6 ㎜)
❹ サイドパネル

サイドパネルの取り付けかた

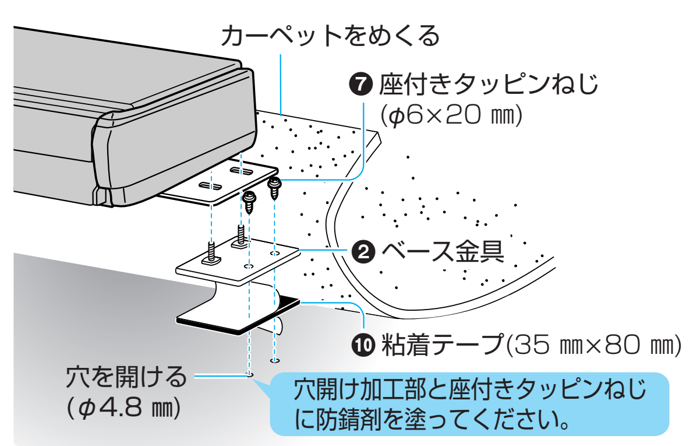

① 本体のみぞにツメを合わせ、
② 本体後面方向にスライドさせる

- **コンソールボックス以外の場所に取り付けるときは、ゴミ、ほこりなどが入らないように、必ずサイドパネルを取り付けてください。**

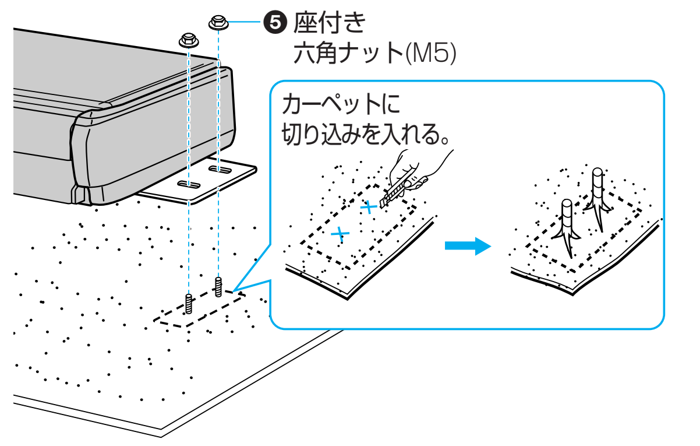
サイドパネルの取りはずしかた


本体天面
① ツメを浮かせる
② 本体前面方向にスライドさせる

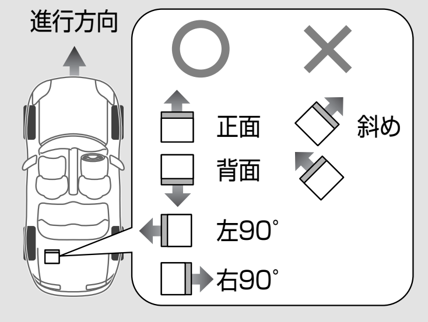
2 **ベース金具を床上に取り付ける。許容傾斜角度を確認してください。**


カーペットをめくる
❼ 座付きタッピンねじ (φ6×20 ㎜)
❷ ベース金具
❿ 粘着テープ(35 ㎜×80 ㎜)
穴を開ける (φ4.8 ㎜)
穴開け加工部と座付きタッピンねじに防錆剤を塗ってください。

3 **カーナビ本体をベース金具に取り付ける。**


❺ 座付き六角ナット(M5)
カーペットに切り込みを入れる。

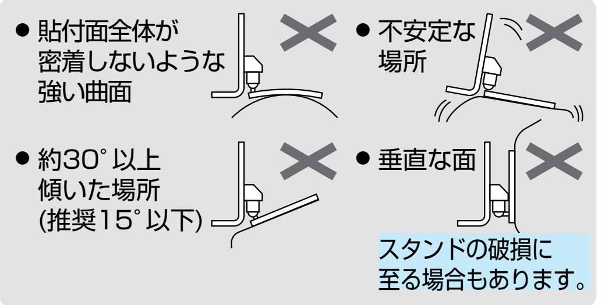
お願い
- **なるべく水平になるように取り付け、進行方向に対し、直角または平行の向きで取り付けてください。**(下図参照)


進行方向
○
×
正面
背面
斜め
左90°
右90°

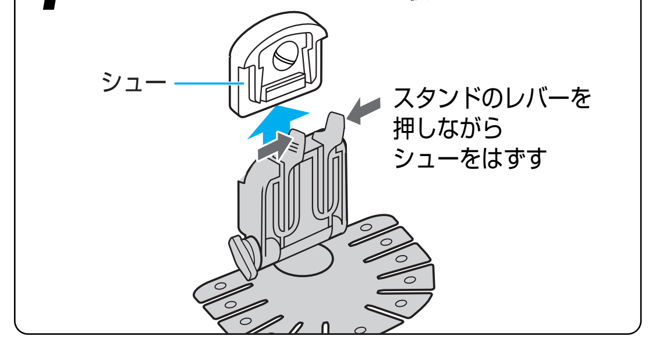
オンダッシュモニターの取り付けかた

準備
- オンダッシュモニターをスタンドに仮止めし、取り付ける位置を確認してください。貼りなおすと粘着力が弱くなります。
- 付属のダッシュボード用クリーナーで設置面の汚れ(ごみ、油など)をきれいに拭き取り、湿気を乾かしてください。
- 気温が低いときは、設置面をドライヤーなどで温めてください。

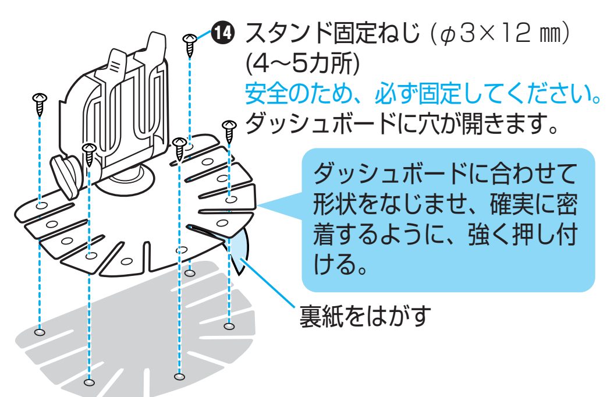
■取付位置について
- 指定のスタンドを使用し、はずれたり落下しないように、しっかり取り付けて安定させてください。
- 下記のような場所には絶対に取り付けないでください。落下する原因になります。


● 貼付面全体が密着しないような強い曲面
● 不安定な場所
● 約30° 以上傾いた場所 (推奨15° 以下)
● 垂直な面
スタンドの破損に至る場合もあります。

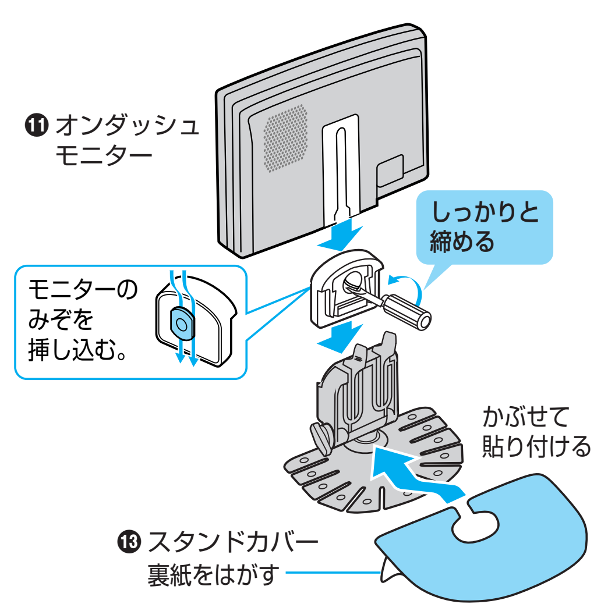
1 **スタンドからシューを取りはずす。**


シュー
スタンドのレバーを押しながらシューをはずす

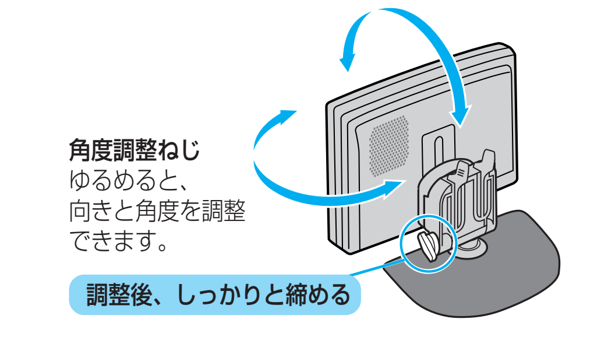
2 **スタンドをダッシュボードの平らな面に取り付ける。**


⓮ スタンド固定ねじ (φ3×12 ㎜) (4〜5カ所)
安全のため、必ず固定してください。
ダッシュボードに穴が開きます。
ダッシュボードに合わせて形状をなじませ、確実に密着するように、強く押し付ける。
裏紙をはがす

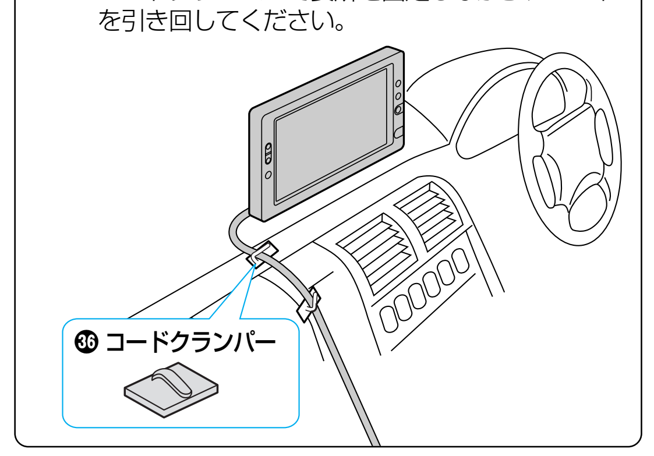
3 **オンダッシュモニターとスタンドカバーを取り付ける。**


⓫ オンダッシュモニター
しっかりと締める
モニターのみぞを挿し込む。
かぶせて貼り付ける
⓭ スタンドカバー 裏紙をはがす

4 **向きと角度を調整する。**


角度調整ねじ ゆるめると、向きと角度を調整できます。
調整後、しっかりと締める

5 **コードを引き回す。**
コードクランパーで要所を固定しながら、コードを引き回してください。



取り付け・配線の前に

- 取り付ける前に内容物を確認してください。
- 取り付けには、一般工具・カッターナイフ・布きれなどが必要です。
- ボルト・ナット・ねじの取り付けは寸法が合った工具を使用し、まっすぐ確実に行ってください。
- **別売の機器を接続してシステムアップする場合は、必ず指定品を使用してください。**(裏面)
  また、各機器の説明書をよくお読みになり、正しく使用してください。
- 作業終了後、確実に取り付け・配線されていること、および車の電装品が正しく動くことを必ず確認してください。(裏面)

内容物の確認

万一不備な点がございましたら、お買い上げの販売店へお申し付けください。

番号	品名	数量
	ナビゲーション本体関連	
❶	ナビゲーション本体	1
❷	ベース金具	2
❸	L型金具	2
❹	サイドパネル左右	各1
❺	座付き六角ナット (M5)	4
❻	座付きねじ (M5×6 ㎜)	2
❼	座付きタッピンねじ(φ6×20 ㎜)	4
❽	皿ねじ (M5×6 ㎜)	4
❾	スペーサー/両面テープ	各2
❿	粘着テープ(35 ㎜×80 ㎜)	2
	オンダッシュモニター関連	
⓫	オンダッシュモニター	1
⓬	スタンド	1
⓭	スタンドカバー	1
⓮	スタンド固定ねじ(φ3×12 ㎜)	5
⓯	クリーナー (スタンド取付用)	1
	リモコン関連	
⓰	リモコン	1
⓱	単3形乾電池 (R6PU)	2
⓲	リモコンホルダー	1
⓳	両面テープ (20 ㎜×50 ㎜)	1

番号	品名	数量
	TV・FM多重アンテナ関連	
⓴	TV・FM多重アンテナ左右	各1
㉑	TV・FM多重アンテナコード左右(6 m)	各1
㉒	コードクランパー (TV・FM多重アンテナ用)	10
㉓	アースステープ	2
㉔	作業用ヘラ	1
	GPSアンテナ関連	
㉕	GPSアンテナ (コード6 m)	1
㉖	防水ゴム(GPSアンテナ用)	1
㉗	金属シート (GPSアンテナ車内取付用)	1
㉘	保護シート (GPSアンテナ車外取付用)	1
㉙	コードクランパー (GPSアンテナ/リヤビューカメラ用)	5
	配線関連	
㉚	電源コード	1
㉛	車速信号中継コード (SPEED用、桃色：5 m)	1
㉜	圧着式コネクター	4
㉝	アースコード (60 cm)	1
㉞	バインドねじ (M3×6 ㎜)	1
㉟	ユニット接続コード(6 m)	1
㊱	コードクランパー (ユニット接続コード用)	3
㊲	ビーコンプラグ保護カバー	1

番号	品名	数量
	リヤビューカメラ関連 (DV155Rのみ)	
㊳	リヤビューカメラ (コード6.5 m)	1
㊴	カメラスタンド	1
㊵	ワッシャー付きねじ (M3×6 ㎜)	2
㊶	リヤビューカメラ延長コード (2 m)	1

※リモコンの取り付けかたと電池の入れかたは、取扱説明書「準備・基本編」をご覧ください。

その他の付属品

品名	数量
地図ディスク	1
SDメモリーカード (128 MB)	1
クリーニングクロス (液晶ディスプレイ用)	1

主な添付品

品名	数量
取扱説明書「準備・基本編」	1
取扱説明書「操作編」	1
取付説明書「設置と接続」	1
仮保証書 兼ユーザー登録ハガキ	1
取付ゲージ	1
インデックスシート (SDメモリーカード用)	2

松下電器産業株式会社
パナソニック オートモーティブシステムズ社
〒224-8539 横浜市都筑区佐江戸町600番地
お客様ご相談センター 電話 ☎ 0120-50-8729
一般電話 045-929-1265 (携帯電話・PHSなど)
FAX 045-938-3244
受付 9:00〜17:00 (土･日･祝日･弊社休日を除く)
※一般電話、およびFAXをご利用の際の通信料は、お客様のご負担となります。

© 2004 Matsushita Electric Industrial Co., Ltd. All Rights Reserved.

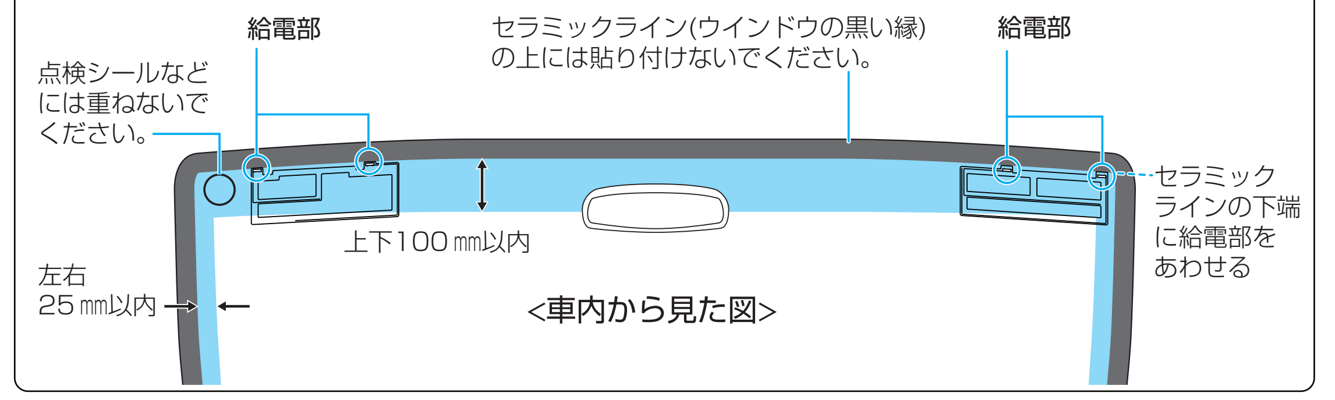
TV・FM多重アンテナの取り付けかた

取り付ける前に
- **アンテナは、運転者の視界を妨げない位置に、はがれないようしっかり取り付けてください。**
- **車種によって、取り付けられない場合があります。**
  熱線反射ガラスや断熱ガラス、電波不透過ガラスなど電波を通さないガラスを使用した車種の場合、受信感度が極端に低下します。お買い上げの販売店に相談してください。
- **仮止めして、アンテナを取り付ける位置(左右の位置)を確認してください。**
  貼りなおすと粘着力が弱くなります。
  付属のクリーナー (TV・FM多重アンテナ用) で、設置面 (ガラス面、ピラー内側) の汚れ (ごみ、油) などをきれいに拭き取ってください。

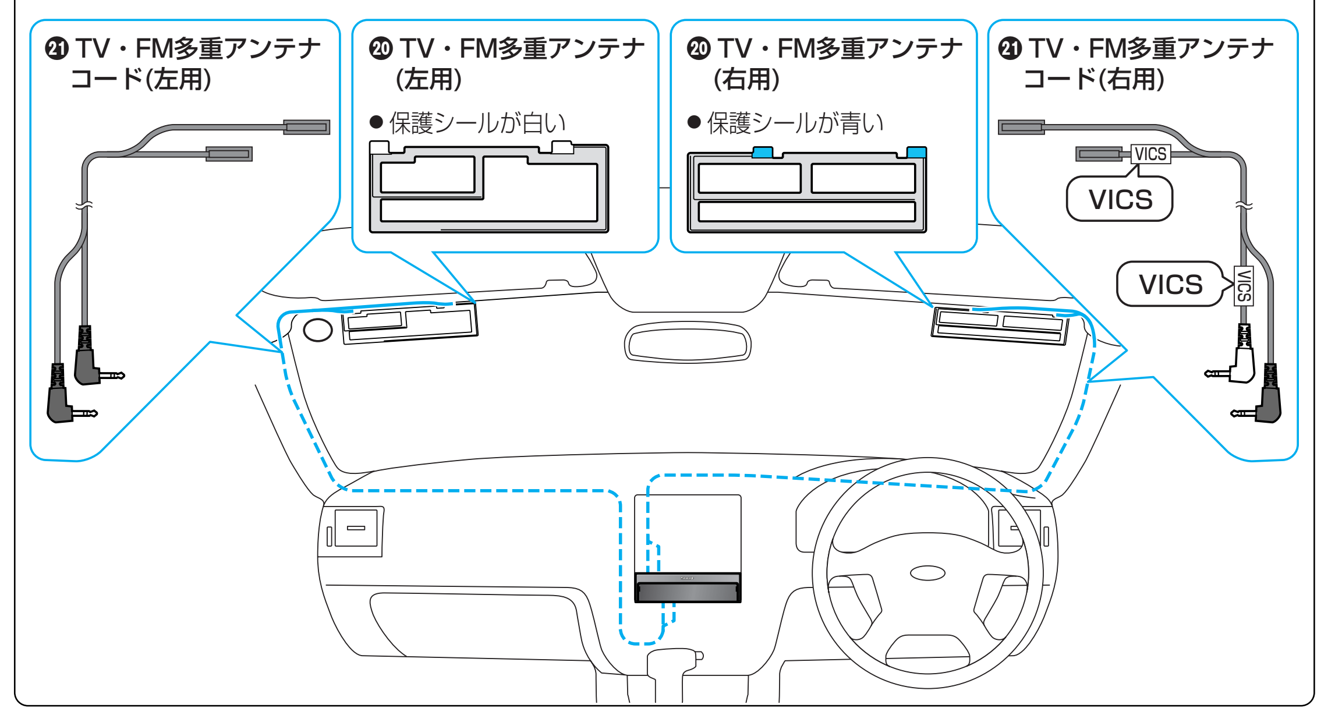
■取付許容範囲 (部) について

国土交通省の定める保安基準※に適合するように、アンテナの給電部は、取付許容範囲内に取り付けてください。
- 左ハンドル車に貼り付ける場合も、下図のとおりに貼り付けてください。(左右逆に貼らないでください。)

※保安基準とは、道路運送車両の保安基準第29条第4項第7号に対する、平成11年12月27日付の運輸省 (当時) 告示第820号をいいます。


給電部
セラミックライン(ウインドウの黒い縁)の上には貼り付けないでください。
給電部
点検シールなどには重ねないでください。
上下100 ㎜以内
セラミックラインの下端に給電部をあわせる
左右 25 ㎜以内
<車内から見た図>

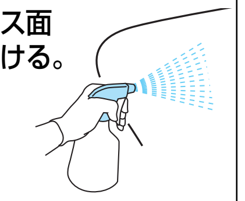
■ アンテナの左右※をご確認ください。 ※車内から見て(フロントウインドウに向かって)左側/右側を表します。


㉑ TV・FM多重アンテナコード(左用)
⓴ TV・FM多重アンテナ (左用)
● 保護シールが白い
⓴ TV・FM多重アンテナ (右用)
● 保護シールが青い
㉑ TV・FM多重アンテナコード(右用)
VICS
VICS

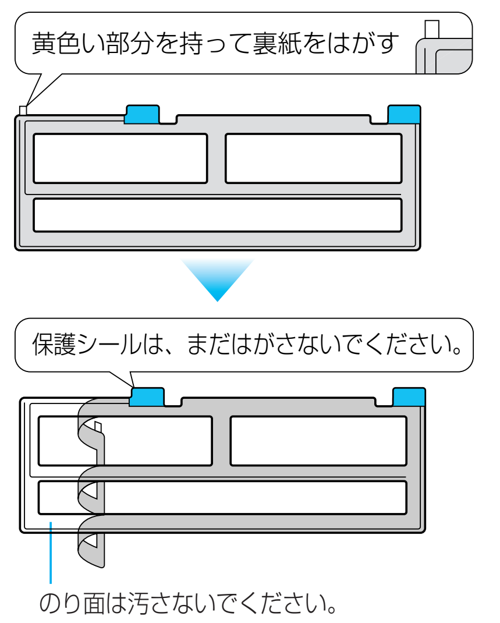
1 **フロントウインドウにアンテナを貼り付ける**(図は右用のアンテナの例)

- 折り曲げたり、引っ張ったりしないでください。断線の原因になります。

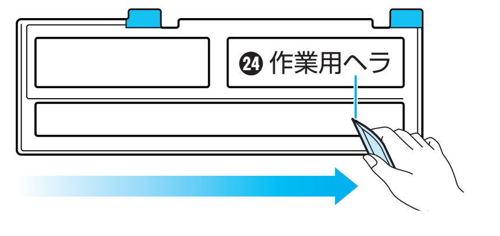
① 霧吹きなどで、車内側のガラス面に均一にせっけん水を吹き付ける。
- 水500 ccに対して中性洗剤が1〜2滴が適量です。



② アンテナの裏紙をはがし、ガラス面に貼り付ける。


黄色い部分を持って裏紙をはがす
保護シールは、まだはがさないでください。
のり面は汚さないでください。

③ 作業用ヘラでアンテナの気泡を取り除いて、密着させる。

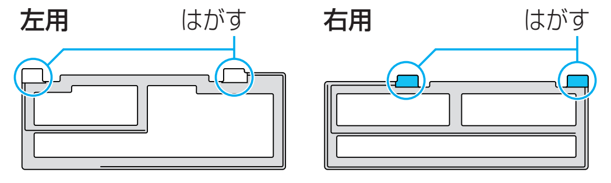


- 左用も同様に貼り付けてください。
- アンテナ周辺のせっけん水を拭き取り、十分に乾燥させてください。(2〜3時間放置する。)

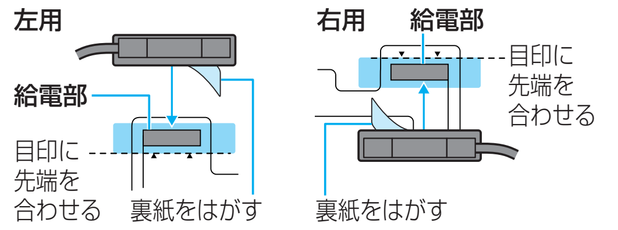
2 **アンテナコードを取り付ける**

① 車の内張り (ピラー) を取りはずす。

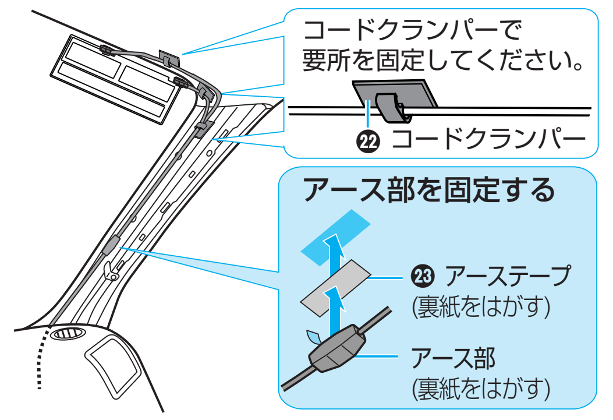
② アンテナ給電部の保護シールをはがす。


左用 はがす
右用 はがす

③ アンテナコードの端子を給電部に貼る。
- コードの左右 (VICSコードを貼る位置) を必ずご確認ください。


左用
給電部
目印に先端を合わせる
裏紙をはがす
右用 給電部
目印に先端を合わせる
裏紙をはがす

④ アース部をピラー内側の金属部 (塗装面) に貼り付けて、コードを引き回す。
- 金属部の塗装をヤスリなどではがす必要はありません。


コードクランパーで要所を固定してください。
㉒ コードクランパー
アース部を固定する
㉓ アーステープ (裏紙をはがす)
アース部 (裏紙をはがす)

- **必ず、アース部をアーステープで固定してください。受信感度が低下する原因になります。**
- 配線後、ピラーをもとに戻してください。

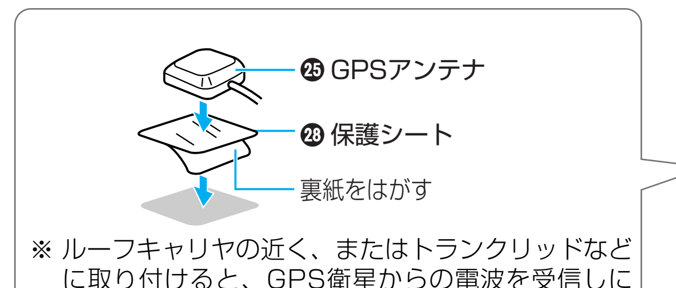
⑤ **アンテナコードをナビゲーション本体に接続する。**(☞裏面)
- ナビゲーション本体や他のコード類からできるだけ離してください。
  また、束ねたり重ねたり交差させたりしないでください。テレビ、FMラジオの音声に雑音が入る原因になります。

GPSアンテナの取り付けかた

準備
- 設置面の汚れ (ごみ、油など) をきれいに拭き取り、湿気を乾かしてください。
- 気温が低いときは、設置面をドライヤーなどで温めてください。

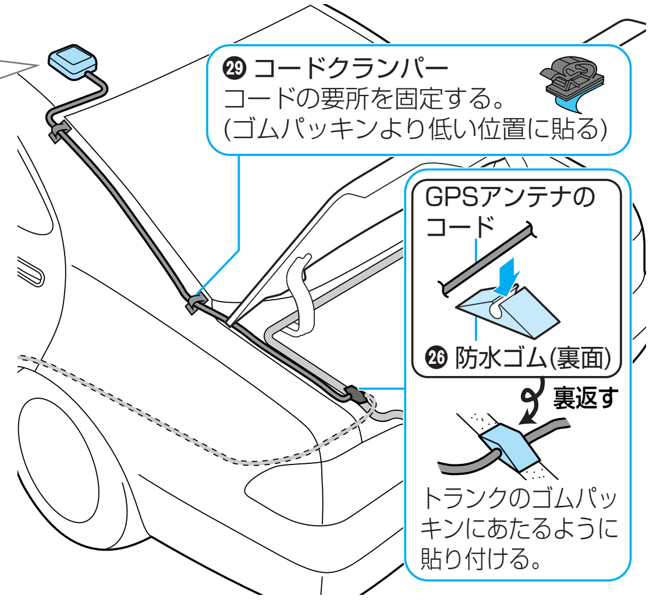
車外に取り付ける場合 (推奨)

ルーフの平らな面に取り付けてください。


㉕ GPSアンテナ
㉘ 保護シート
裏紙をはがす

※ ルーフキャリヤの近く、またはトランクリッドなどに取り付けると、GPS衛星からの電波を受信しにくくなります。

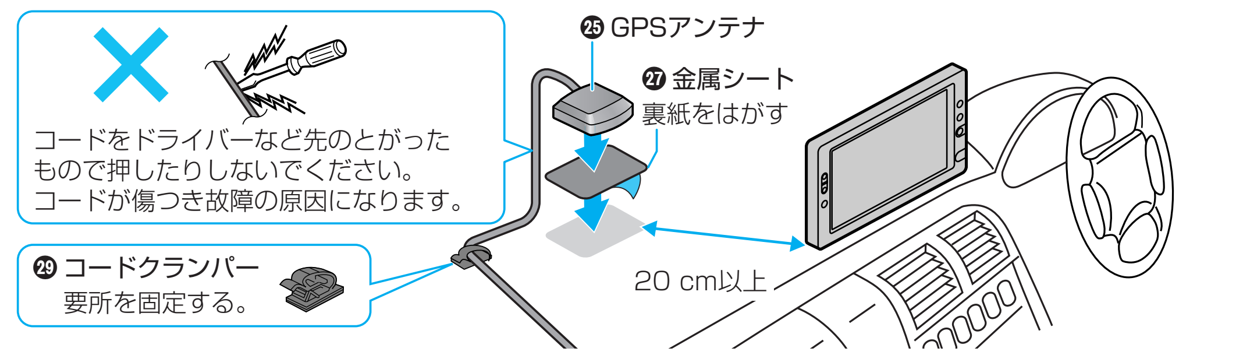
トランクに雨水が入らないように
コードを引き回す。
トランクリッド開閉時に、コードに無理な力が加わらないよう、ゆとりを持たせてください。


㉙ コードクランパー
コードの要所を固定する。(ゴムパッキンより低い位置に貼る)
GPSアンテナのコード
㉖ 防水ゴム(裏面)
裏返す
トランクのゴムパッキンにあたるように貼り付ける。

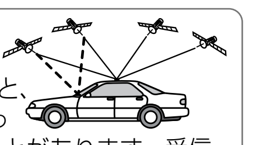
お願い
- GPSアンテナに塗料やワックスを塗らないでください。また、雪などが積もった場合は取り除いてください。GPS衛星からの電波を受信しにくくなります。
- **洗車や長時間駐車するときは**
  GPSアンテナをはずし、トランクや車内へ収納してください。はずすときに、コードを引っ張らないでください。故障や傷つきの原因になります。

ダッシュボードやリアトレイに取り付ける場合は

中央部のガラス付近に水平に取り付けてください。


コードをドライバーなど先のとがったもので押したりしないでください。コードが傷つき故障の原因になります。
㉙ コードクランパー 要所を固定する。
㉕ GPSアンテナ
㉗ 金属シート 裏紙をはがす
20 cm以上

お知らせ



- 車内にGPSアンテナを取り付けると、受信しにくくなり、電波状態によっては自車位置を誤って表示することがあります。受信状態が良くない場合は、車外に取り付けてください。
- 車体の形状や電波を通さない一部のウインドウガラスにより、電波がさえぎられることがあります。お買い上げの販売店、またはお近くの「サービス相談窓口」に相談してください。

お願い
- 金属シートは、
  - ・必ず、付属の金属シートを使用してください。
  - ・折り曲げたり、切って小さくしないでください。
- あまったアンテナコードをまとめるときは、ナビゲーション本体から30 cm以上離してください。
- GPSアンテナに時計や磁気カードを近づけないでください。故障したり、使えなくなる場合があります。

リヤビューカメラの取り付けかた DV155Rのみ

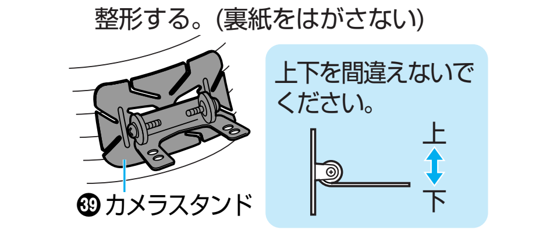
ナビゲーションの配線が完了してから、カメラ本体の取り付け・配線を行ってください。

準備
- 仮止めして取り付ける位置を確認してください。貼りなおすと粘着力が弱くなります。
- 設置面の汚れ(ごみ、油、ワックス)などを市販のクリーナーなどできれいに拭き取り、湿気を乾かしてください。
- 気温が低いときは、5分ほど車内ヒーターやリアウインドウデフォッガーで温めてください。

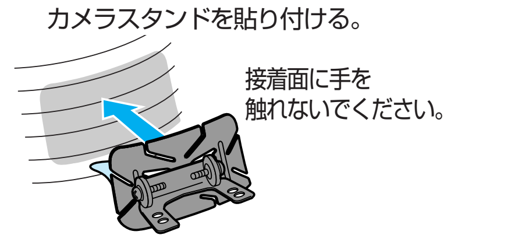
■しっかりと貼り付けるために
- **貼り付けたあと、24時間放置する**
  雨中を走行したり、引っ張ったりしないでください。(通常の走行は、さしつかえありません)
- **雨天時は野外で作業しない**
  ドライヤーなどで湿気を乾かしてください。

1 **カメラスタンドを車体のガラス面に貼り付ける。**

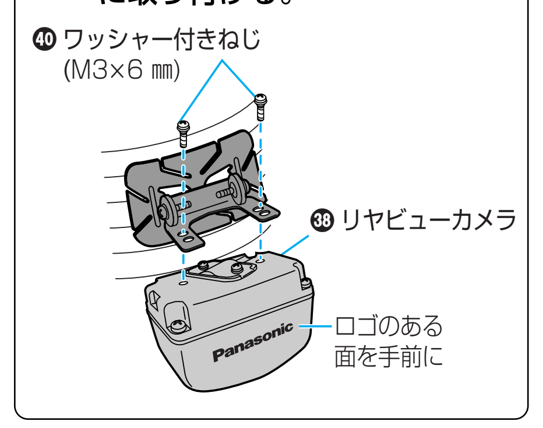
① ガラス面に合うように、カメラスタンドを整形する。(裏紙をはがさない)


㊴ カメラスタンド
上下を間違えないでください。
上
下

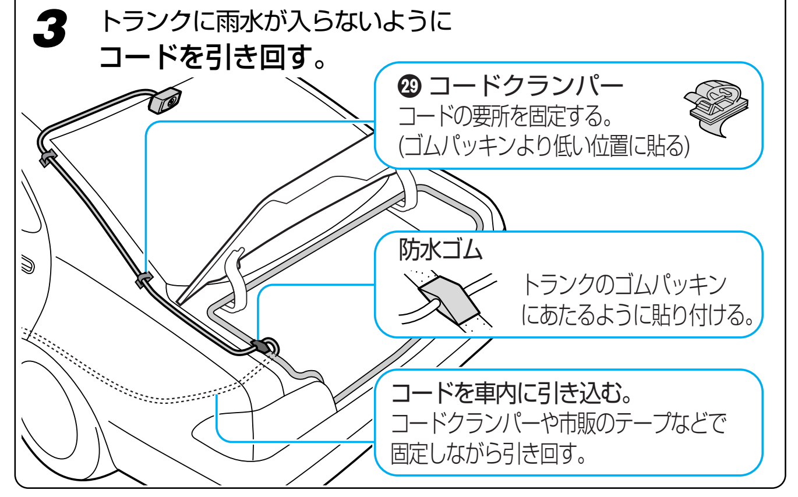
② 裏紙をはがして、カメラスタンドを貼り付ける。


接着面に手を触れないでください。

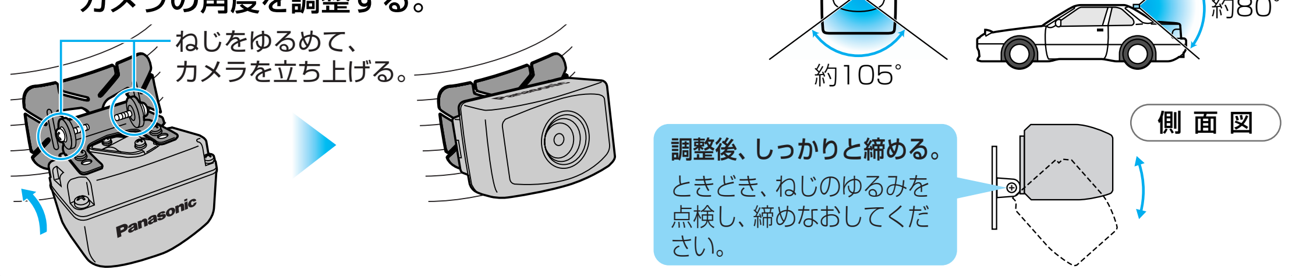
2 **カメラ本体を、カメラスタンドに取り付ける。**


㊵ ワッシャー付きねじ (M3×6 ㎜)
㊳ リヤビューカメラ
ロゴのある面を手前に

3 トランクに雨水が入らないように
コードを引き回す。


㉙ コードクランパー
コードの要所を固定する。(ゴムパッキンより低い位置に貼る)
防水ゴム
トランクのゴムパッキンにあたるように貼り付ける。
コードを車内に引き込む。
コードクランパーや市販のテープなどで固定しながら引き回す。

4 バンパーまたは車両後端部がモニターの下端に表示されるように、
カメラの角度を調整する。


ねじをゆるめて、カメラを立ち上げる。
約105°
約80°
側面図
調整後、しっかりと締める。
ときどき、ねじのゆるみを点検し、締めなおしてください。

お知らせ
- フッ素樹脂処理された (水滴や泥水などをはじく) 塗装面やガラス面、再塗装された面には取り付けられません。

お願い
- **洗車や長時間駐車するときは**
  カメラ本体をはずし、トランクへ収納してください。はずすときに、コードを引っ張らないでください。故障や傷つきの原因になります。